

2011年3月期第2四半期
決算説明会



目次

- I. 2011年3月期第2四半期決算
 1. 第2四半期決算の概要
 2. 事業セグメント別業績
 3. 貸借対照表・キャッシュフロー
 4. 通期業績予想

- II. 第二次中期経営計画見直し
 1. 中期経営計画概要
 2. 各事業の成長戦略

1. 2011年3月期第2四半期決算の概要

経営環境

中国を中心にした海外経済の回復に伴う輸出の増加や政府景気対策により、緩やかな回復傾向を示しているものの、円高進行に歯止めがかからず、また株安傾向もあり、全体の景況感は依然として厳しく、先行き不透明な状況である。

業績の概要

第2四半期はアジアを中心とした海外において好調に推移したことに加え、国内においてもエコカー補助金による新車用自動車電池の販売が好調であったこと、フォークリフト用電池の需要が回復したことにより売上高、利益ともに良い結果を残すことができた。

I -1. 2011年3月期第2四半期決算の概要

業績

(億円)

	2009年度 2Q累計	2010年度 2Q累計	増減
売上高	1,094	1,280	+186
営業利益	-1	61	+62
経常利益	0	58	+58
特別利益	1	6	+5
特別損失	4	35	+31
税前純利益	-2	30	+32
法人税等	9	5	-4
純利益	-17	26	+43

I -1. 2011年3月期第2四半期決算の概要

営業利益・経常利益・税前純利益

(億円)

	2009年度 2Q累計	2010年度 2Q累計	増減	増減要因
営業利益	-1	61	+62	①数量の変化 +30 ②鉛価格・売価変化 +16 ③貸倒の減少 +12 ④その他 +3
経常利益	0	58	+58	<営業利益の増加> +62 ①持分法利益の増加 +5 ②支払利息の減少 +2 ③為替差損 -11
税前利益	-2	30	+32	<経常利益の増加> +58 ①関係会社整理損 -30 ②その他 +4

目次

I. 2011年3月期第2四半期決算

1. 第2四半期決算の概要
2. 事業セグメント別業績
3. 貸借対照表・キャッシュフロー
4. 通期業績予想

II. 第二次中期経営計画見直し

1. 中期経営計画概要
2. 各事業の成長戦略

I -2. 2011年3月期第2四半期決算

セグメント別業績

(億円)

	国内自動車電池	国内産業用電池 電源	海外	その他	合計
- 売上高 -					
2010年度 2Q累計①	278	287	597	118	1,280
2009年度 2Q累計②	259	226	492	116	1,094
増減額 ①-②	+19	+61	+105	+2	+186
- セグメント利益 -					
2010年度 2Q累計①	19	20	45	-23	61
2009年度 2Q累計②	-5	-4	31	-23	-1
増減額 ①-②	+24	+24	+14	0	+62



(注)「照明」及び「消去又は全社」については、「その他」に含めております。

7

I -2. 事業セグメント別業績



国内自動車電池事業

(億円)

	売上高	セグメント 利益
2010年度 2Q累計	278	19
2009年度 2Q累計	259	-5
増減(10-09年度)	+19	+24

主な増益要因

- ・ 数量の増加 +4
- ・ 鉛価格・売価変化 +7
- ・ 生産性向上 +13
合理化等

- ・ 新車用はエコカー補助金終了前の駆け込み需要を受け好調
- ・ 補修用電池は記録的猛暑により好調
- ・ 生産性向上および合理化により増益



8

I -2. 事業セグメント別業績

産業電池電源
セグメント



国内産業電池電源事業

(億円)

	売上高	セグメント利益
2010年度 2Q累計	287	20
2009年度 2Q累計	226	-4
増減(10-09年度)	+61	+24

主な増益要因

・ 数量の増加	+9
・ 鉛価格・売価変化	+5
・ 貸倒の減少	+8
・ その他	+2

- ・ 電源装置および据置用電池は前年並み
- ・ フォークリフト用電池は需要が回復基調
- ・ 太陽光発電設備の需要が拡大



9

I -2. 事業セグメント別業績

海外
セグメント



海外事業

(億円)

	売上高	セグメント利益
2010年度 2Q累計	597	45
2009年度 2Q累計	492	31
増減(10-09年度)	+105	+14

主な増益要因

・ 数量の増加	+10
・ 鉛価格・売価変化	+4

- ・ 中国、東南アジアを中心に自動車電池の販売数量が増加



10

I -2. 事業セグメント別業績



その他

(億円)

	売上高	セグメント利益
2010年度 2Q累計	118	-23
2009年度 2Q累計	116	-23
増減(10-09年度)	+2	0

- EV用リチウムイオン電池は販売数量が増加
- 道路照明を中心に堅調に推移
- 車載用リチウムイオンの減価償却費・研究開発費が増加



(注)「照明」及び「消去又は全社」については、「その他」に含めております。

11

目次

- I. 2011年3月期第2四半期決算
 1. 第2四半期決算の概要
 2. 事業セグメント別業績
 3. 貸借対照表・キャッシュフロー
 4. 通期業績予想
- II. 第二次中期経営計画見直し
 1. 中期経営計画概要
 2. 各事業の成長戦略



12

I -3. 貸借対照表・キャッシュフロー

貸借対照表

(億円)

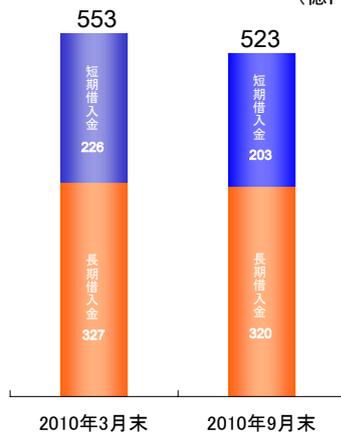
	2010/3末	2010/9末	増減額		2010/3末	2010/9末	増減額
流動資産	1,289	1,233	-56	負債	1,249	1,213	-36
・現金同等物			-4	・借入金			-30
・売上債権			-36	・仕入債務(設備含む)の減少			-30
・棚卸資産			+22	・リース債務の増加			+41
・その他			-35	・未払金			-22
固定資産	1,079	1,100	+21	純資産	1,119	1,120	+1
・有形固定資産			+30	・純利益および株主配当			+1
・投資有価証券の減少			-16				
総資産	2,368	2,333	-35	負債・純資産	2,368	2,333	-35

資 産 : リチウムイオン電池事業の固定資産が増加したものの、売上債権が減少したことにより減少
負債純資産 : 借入金額の減少

I -3. 貸借対照表・キャッシュフロー

有利子負債

(億円)



増減要因

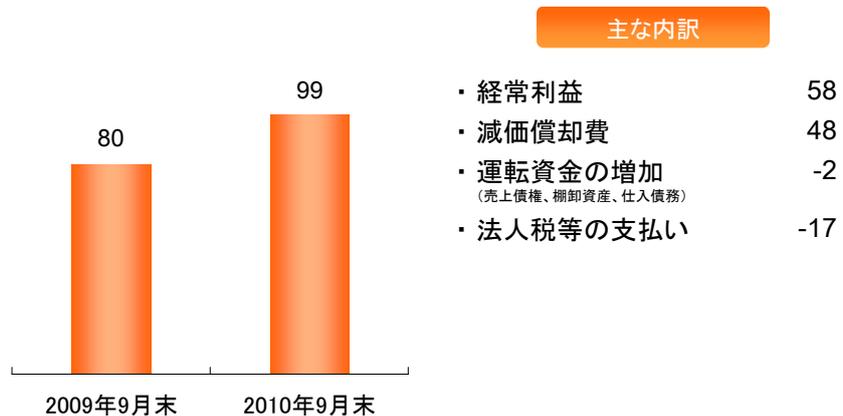
・ 営業C/F	+99
・ 投資C/F	-126
・ 少数株主からの出資等	+75
・ 配当金、その他	-18
減少額合計	30 億円

I -3. 貸借対照表・キャッシュフロー

営業キャッシュフロー

(億円)

(億円)



目次

I. 2011年3月期第2四半期決算

1. 第2四半期決算の概要
2. 事業セグメント別業績
3. 貸借対照表・キャッシュフロー
4. 通期業績予想

II. 第二次中期経営計画見直し

1. 中期経営計画概要
2. 各事業の成長戦略

I -4. 2011年3月期 通期業績予想

経営環境

日本経済は企業業績の回復により、停滞期は脱出したように見受けられ、また、アジア経済は良好な状態が継続している。しかし、為替相場は円高が継続し、欧州の経済情勢の失速が懸念されるなど、先行きの不安要素が残る。国内においても補助金の終了による新車販売の減少が予測されるなど、当社を取り巻く環境は必ずしも良好であるとはいえない。

基本方針

当社グループにおいては、このような環境の下、既存事業の更なる体質強化・収益力強化、車載用リチウムイオン電池の速やかな立上げ・収益化に向け、下記課題に取り組む。

- ・ 販売の拡大
- ・ コストに見合った適正な販売価格の維持
- ・ 更なる合理化・コスト削減の推進



17

I -4. 2011年3月期 通期業績予想

(億円)

	2009年度 通期実績	2010年度 通期計画	増減
売上高	2,472	2,800	+328
営業利益	115	150	+35
税前利益	103	110	+7
純利益	65	80	+15
純利益/株	16.32円	19.38円	3.06円
配当	6円/株	7円/株	1円/株
下期前提条件	(鉛価格) 国内建値: 23万円/t LME: \$2,000/t (為替レート) 85円/\$		



18

I -4. 2011年3月期 通期業績予想

セグメント別業績

(億円)

	国内自動車電池	国内産業用電池 電源	海外	その他	合計
- 売上高 -					
2010年度 通期計画 ①	600	700	1,170	330	2,800
2009年度 通期実績 ②	567	590	1,047	268	2,472
増減額 ①-②	+33	+110	+123	+62	+328
- セグメント利益 -					
2010年度 通期計画 ①	35	90	80	-55	150
2009年度 通期実績 ②	18	69	69	-41	115
増減額 ①-②	+17	+21	+11	-14	+35



(注)「照明」及び「消去又は全社」については、「その他」に含めております。

19

目次

- I. 2011年3月期第2四半期決算
 1. 第2四半期決算の概要
 2. 事業セグメント別業績
 3. 貸借対照表・キャッシュフロー
 4. 通期業績予想

- II. 第二次中期経営計画見直し
 1. 中期経営計画概要
 2. 各事業の成長戦略



20

II-1. 中期経営計画概要

経営方針と重要戦略課題

<経営方針>

グローバル企業として高収益企業グループを形成する。

リチウムイオン電池事業を基幹事業の一翼を担う事業へ育成する。

<重要戦略課題>

既存事業の収益力強化

国内自動車電池・産業電池電源事業での収益の安定化

海外事業の拡大

中国・アジアを中心とする自動車電池事業の拡大

リチウムイオン電池事業の育成

EV・HEV用電池の事業化と産業用リチウムイオン電池事業の拡大

II-1. 中期経営計画概要

経営目標

計画期間: 2010年4月～2013年3月

2013年3月期 目標値

売上高	3,300億円
税前利益	250億円
ROE(株主資本利益率)	12%以上
営業キャッシュフロー	250億円以上

II-1. 中期経営計画概要

業績と経営目標



23

II-1. 中期経営計画概要

売上高と利益

(億円)

	2010年3月期 実績		第二次中期経営計画					
	売上高	セグメント利益	2011年3月期		2012年3月期		2013年3月期	
	売上高	セグメント利益	売上高	セグメント利益	売上高	セグメント利益	売上高	セグメント利益
国内自動車電池	567	18	600	35	550	35	550	40
国内産業電池電源	590	69	700	90	730	100	730	115
海外	1,047	69	1,170	80	1,280	90	1,400	110
その他	268	-41	330	-55	440	-35	620	-15
合計	2,472	115	2,800	150	3,000	190	3,300	250

24

Ⅱ-1. 中期経営計画概要

設備投資額と減価償却費

(億円)

	2010年3月期 実績	第二次中期経営計画			合計
		2011年3月期	2012年3月期	2013年3月期	
リチウムイオン電池事業	130	90	200	210	500
海外事業	20	40	30	30	100
その他	20	30	60	60	150
設備投資額 合計	170	160	290	300	750
減価償却費	90	120	150	200	

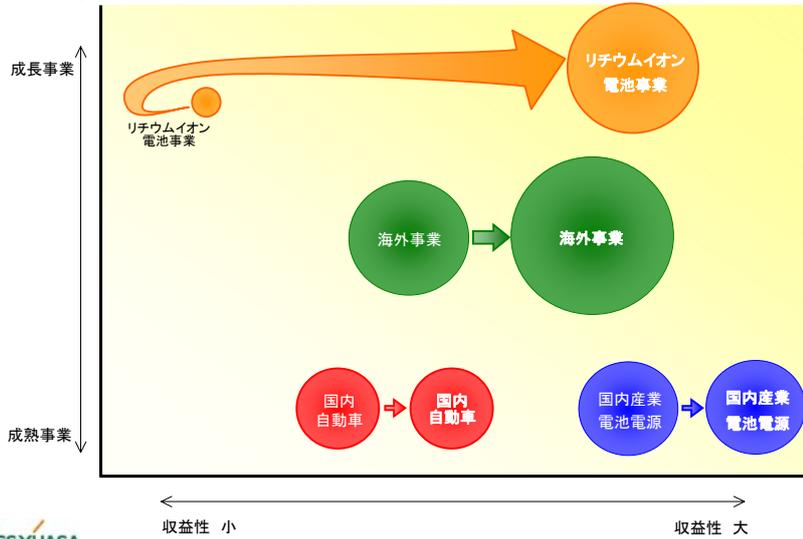
目次

- I. 2011年3月期第2四半期決算
 1. 第2四半期決算の概要
 2. 事業セグメント別業績
 3. 貸借対照表・キャッシュフロー
 4. 通期業績予想

- II. 第二次中期経営計画見直し
 1. 中期経営計画概要
 2. 各事業の成長戦略

II-2. 各事業の成長戦略

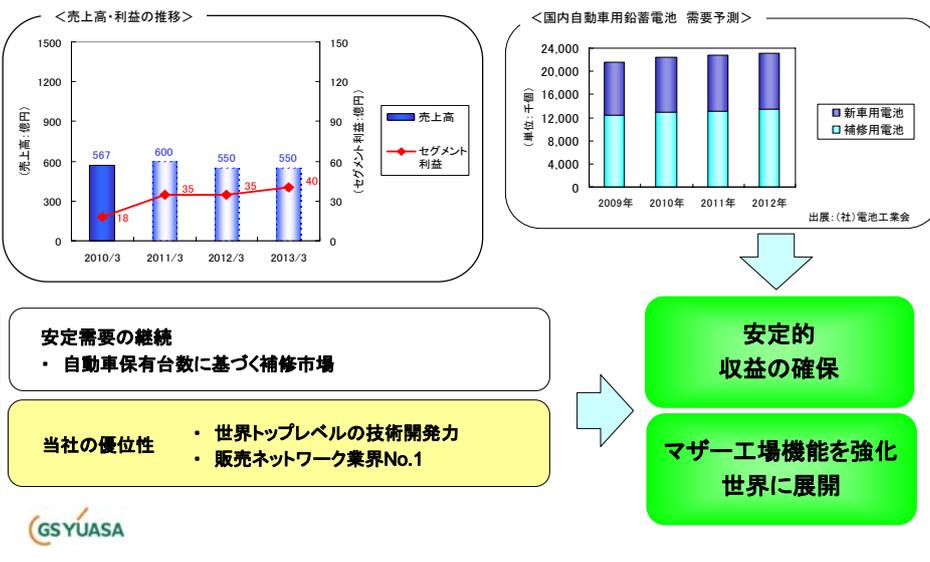
各事業の位置付け



27

II-2. 各事業の成長戦略

国内自動車電池事業

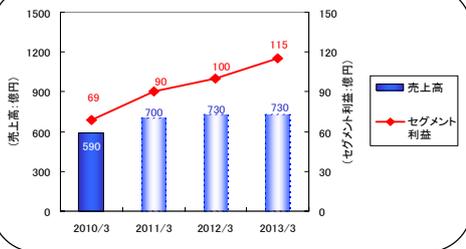


28

II-2. 各事業の成長戦略

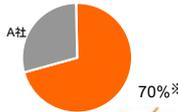
国内産業電池電源事業

<売上高・利益の推移>

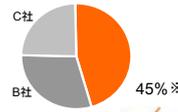


高いシェアを保持

フォークリフト用電池



バックアップ用電池



高い安全基準が求められる市場

- ・ 建築基準法、消防法などによるバックアップシステムの設置および点検報告義務
- ・ ハイスペックな電源システム、ハイレベルな保守・運営の要求

当社の優位性

充実したエンジニアリングサービス体制を
GSユアサだけが全国に展開

高収益
ビジネスモデル



※: 当社推定値(2009年度)

29

II-2. 各事業の成長戦略

海外事業 生産・販売拠点とシェア

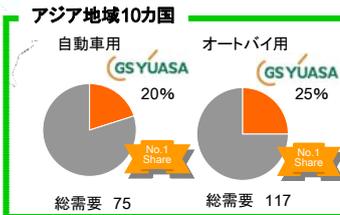
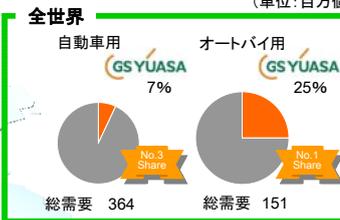
全世界 19カ国 41拠点

アジア地域 10カ国 29拠点



<2009年度の総需要とシェア※>

(単位:百万個)



※: 当社推定値

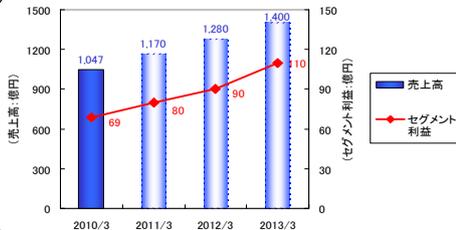


30

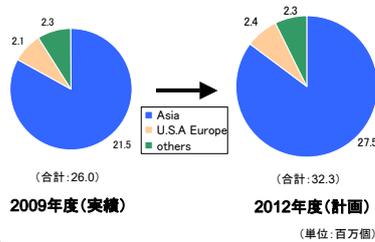
II-2. 各事業の成長戦略

海外事業

＜売上高・利益の推移＞



当社の自動車電池の販売計画



新車生産台数および保有台数が拡大するアジア自動車市場

当社の優位性

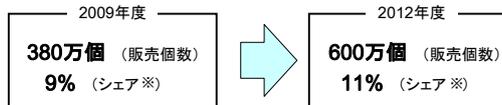
- ・ 世界トップレベルの技術開発力
- ・ アジア最大の生産・販売拠点体制

アジア自動車電池市場
における生産・販売強化



II-2. 各事業の成長戦略

海外事業 自動車電池／中国



※：当社推定値

天津統一工業有限公司



湯淺蓄電池(順徳)有限公司

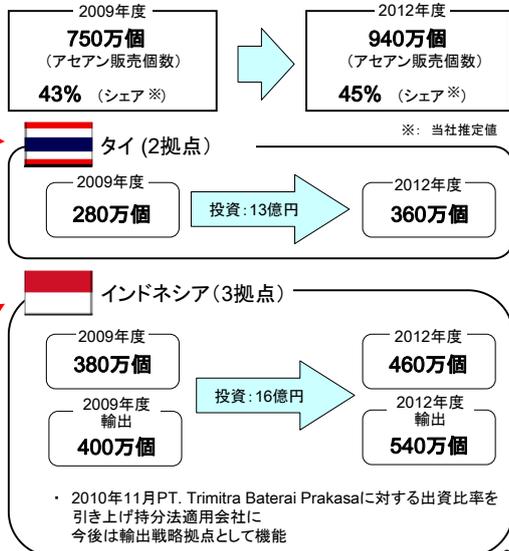


II-2. 各事業の成長戦略

海外事業 自動車電池／アセアン



GSYUASA



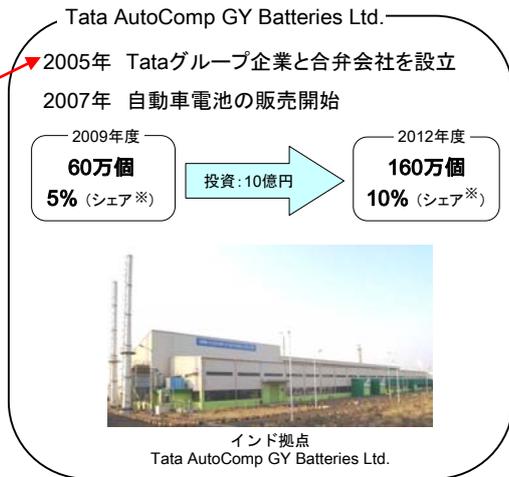
33

II-2. 各事業の成長戦略

海外事業 自動車電池／インド



GSYUASA

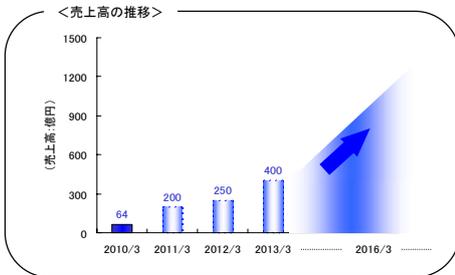


※: 当社推定値

34

II-2. 各事業の成長戦略

リチウムイオン電池事業



生産拡大に向けた設備投資

期間	2011/3 - 2013/3期 第2次中計	2014/3 - 2016/3期 第3次中計
投資額	500億円	500億円
合計	1,000億円	



当社の優位性

- ・ 高容量、高電圧に対するノウハウ
約20年間蓄積した大型リチウムイオン電池の豊富な研究開発、製造、販売実績
- ・ 大型リチウムイオン電池の生産技術力
世界初の車両用リチウムイオン電池量産工場の立上げ
- ・ 研究開発能力
高性能新材料の開発
アプリケーションに適応したさまざまな材料を組み合わせた製品ラインアップ



産業用リチウムイオン電池事業の拡大

車載用リチウムイオン電池事業の拡大

35

II-2. 各事業の成長戦略

産業用リチウムイオン電池事業の拡大

超高信頼、超長寿命
多くの実績に基づくノウハウ
を製品に展開



宇宙・航空分野



航空機



ロケット



衛星

産業用分野



無人搬送車



ハイブリッド トランスファークレーン



LRV



ロボット

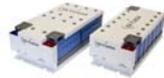


エコバンク



スマートグリッド

- ・ アプリケーションに適応した電池システムを開発する実績とノウハウ
- ・ 用途開発による市場拡大



新発売したLIM50Eモジュール

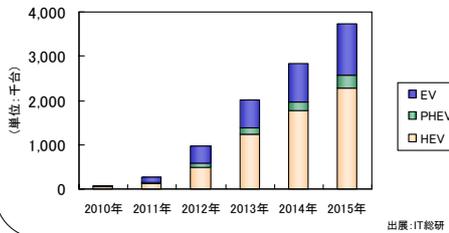


36

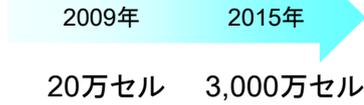
II-2. 各事業の成長戦略

車載用リチウムイオン電池事業の拡大

<リチウムイオン電池搭載車 世界市場予測>



生産能力の拡大



高性能材料の開発

正極活物質	期待できる性能
リン酸バナジウム	高入出力
リン酸マンガン	高エネルギー 高入出力
Li-rich 三成分	高エネルギー



リン酸バナジウムを正極材料に用いたリチウムイオン電池

日本、欧州、米国の自動車メーカーへの積極的アプローチ



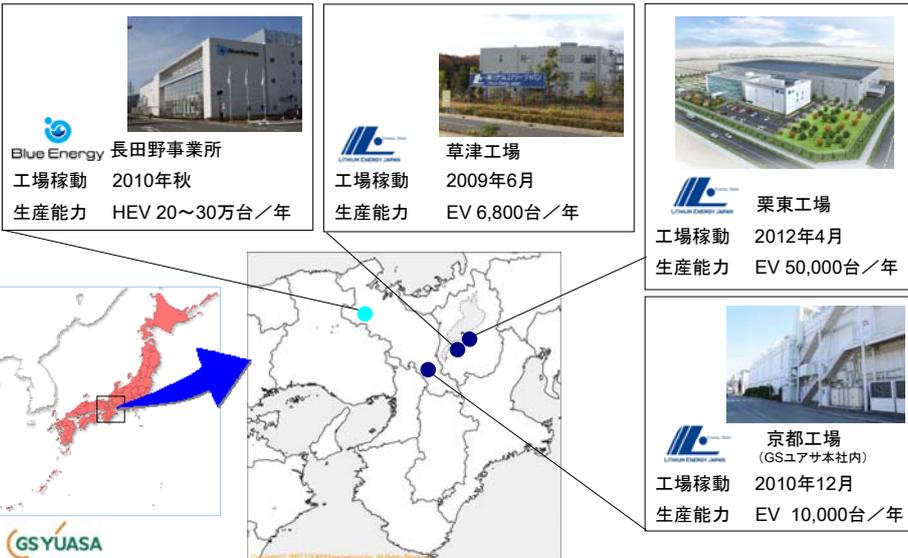
新規顧客の獲得



37

II-2. 各事業の成長戦略

リチウムイオン電池 生産拠点



38

この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。
 それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画・予測したものであり
 ます。実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画などとは異なる場合があり、この資
 料はその実現を確約したり、保証するものではありません。



連絡先
 株式会社 ジーエス・ユアサ コーポレーション
 コーポレート室
 中野 宏治 ・ 山本 靖志 ・ 谷川 浩一
 Tel: 075-312-1214
<http://www.gs-yuasa.com/jp>



参考資料

鉛価格の変動



参考資料

為替の変動

